

みさと 市議会だより

新年度予算を可決しました

主な内容

令和7年3月定例会

- 令和7年度予算を審査・・・・・・・・・・2
- 補正予算トピックス・・・・・・・・・・6
- 市政に対する一般質問・・・・・・・・・・7
- 3月定例会提出議案とその結果・・・・・・・・13
- 「三郷市議会議員政治倫理条例」を制定／
議会あれこれ・・・・・・・・・・14
- 読者の声・・・・・・・・・・16



No. 201

2025年5月15日号

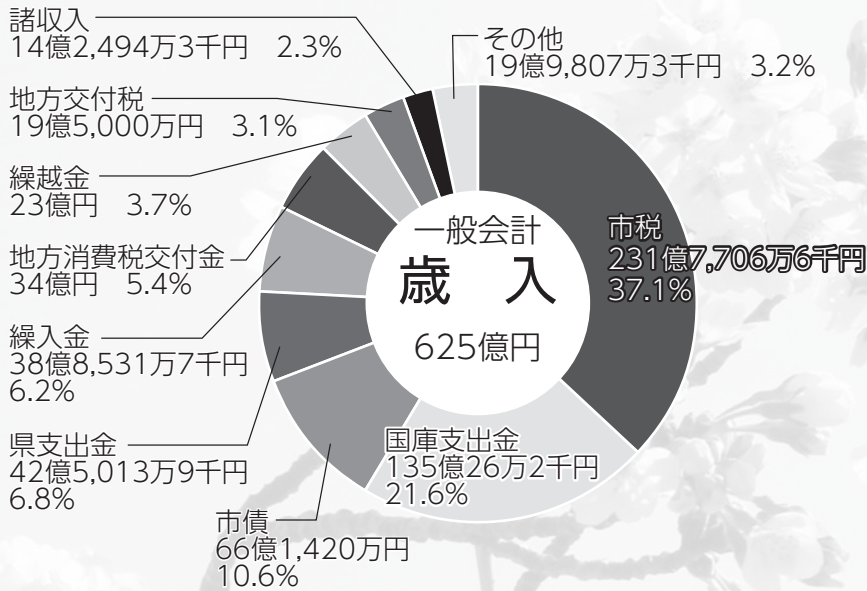
年4回発行

発行 埼玉県三郷市議会

議会は市の
未来を
つくる

令和7年度予算を審査

3月定例会では、令和7年度の三郷市のまちづくりの基本となる予算を審議し、可決しました。一般会計予算は、前年度に比べ44億5千万円（7.7%）の増額となる625億円で、予算規模として過去最高となり、18年連続で前年度予算を上回るものとなりました。



歳入区分	説明
市 税	市民税、固定資産税など
国 庫 支 出 金	特定の事業に対して国から交付されるお金
市 債	市が長期にわたって借りるお金
県 支 出 金	特定の事業に対して県から交付されるお金
繰 入 金	基金などから繰り入れるお金
地方消費税交付金	地方消費税のうち、三郷市分として交付されるお金
繰 越 金	前年度一般会計から繰り越されるお金
地 方 交 付 税	自治体の財政状況に応じて国から交付されるお金
諸 収 入	学校給食納付金、有価物等売却代など
そ の 他	分担金、負担金、使用料、手数料、地方譲与税など

令和7年度の主な事業

3つの柱

重点テーマ

○持続可能な拠点の形成 ～まちづくりは道づくり～

- ・災害に強く持続可能な上下水道システムの構築
- ・南部地域拠点防災コミュニティ施設の整備
- ・三郷中央駅前広場の改修
- ・魅力あふれる公園の整備

○多様性のある地域の確立 ～地域コミュニティの充実～

- ・ギリシャ共和国陸上競技選手団の事前キャンプ受け入れ支援
- ・がん患者へのウェルビーイング支援
- ・「日本一の読書のまち」の充実

○質の高い教育と切れ目ない 子育て支援の強化 ～こどもたちの成長を見守る・夢を育む～

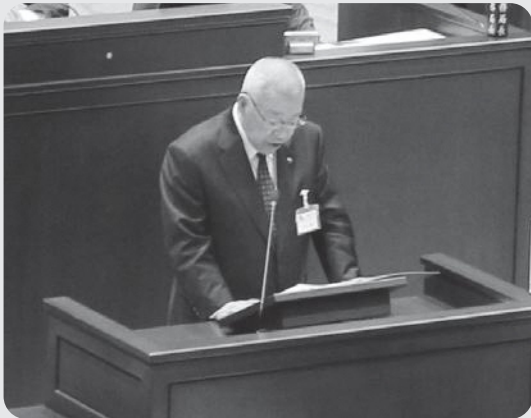
- ・おやこひろば事業の実施
- ・公立保育所へのICTシステムの導入
- ・5歳児健康診査の実施
- ・幸房小学校第2児童クラブの敷地内に児童クラブ室を増築

○重点テーマ以外の事業

- ・平和を願う被爆ピアノコンサートの開催
- ・令和8年度に埼玉県で開催される「ねんりんピック」の準備

令和7年度 施政方針

「より一層の安全・安心なまちへ」
ふるさと三郷
みんながほほえむまちづくり



三郷市長 木津 雅晟

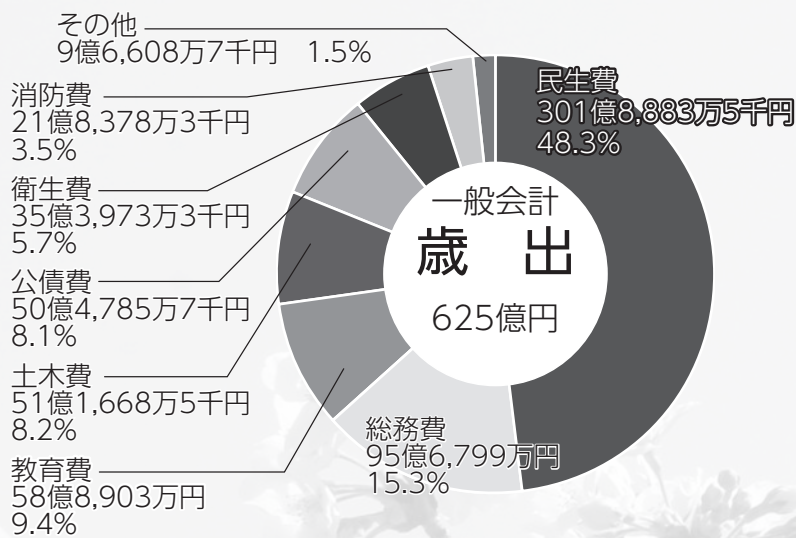
昨年度は、子育て支援施策の更なる充実と、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に積極的に取り組むとともに、能登半島地震の被災地支援、トイレトレーラーの導入など、災害対策の充実強化を図ってまいりました。

一方、急速に進む少子高齢化やデジタル技術の利活用による利便性向上など、市民生活に直結する多くの課題があるほか、八潮市で発生した道路陥没事故をはじめとする公共インフラの老朽化対策についても喫緊なものとなっております。

市としましては、引き続き子育て家庭への支援、高齢者の健康寿命延伸に向けた取り組みや、デジタル技術の活用に積極的に取り組み、市民サービスの更なる向上を図ってまいります。また、上下水道管路の耐震化など、インフラ老朽化対策を講じ、より一層、安全・安心なまちづくりを進めてまいります。

今後も、市民感覚と経営感覚を大切にしながら本市の更なる発展に向け、『ふるさと三郷 みんながほほえむまちづくり』を推進してまいります。

※ 3月定例会初日に市長から施政方針の表明がありました。



歳出区分	説 明
民生費	こども、高齢者、障がい者などへの福祉全般の事業に使うお金
総務費	住民票の交付、市税の課税徴収など、市の総括的な事務に使うお金
教育費	学校運営の費用や公民館、体育施設の管理運営などに使うお金
土木費	道路や河川、公園整備などに使うお金
公債費	市の借金を返済するために使うお金
衛生費	予防接種やごみの収集などに使うお金
消防費	消火・救急活動などに使うお金
その他	議会費、商工費、農林水産業費など

令和7年度

特別会計予算

5つの特別会計予算は、各常任委員会で審査し、本会議において可決しました。

【特別会計別予算一覧表】

区分別		予算額
国民健康保険	歳入歳出	127億9,423万1千円
介護保険	歳入歳出	115億6,386万6千円
後期高齢者医療	歳入歳出	23億7,049万1千円
上水道事業※	収 入	35億3,470万9千円
	支 出	42億8,968万2千円
公共下水道事業※	収 入	58億7,799万8千円
	支 出	67億3,279万7千円

※ 上下水道事業は収益的収支(維持管理など)と資本的収支(建設改良など)の合計額です。

常任委員会の審査概要

(一般会計)

議案をくわしく審査するために開かれた、各常任委員会での令和7年度予算に関する質疑・討論の要旨をお知らせします。

《総務常任委員会》

問 保育所入所児童保護者負担金（滞納繰越分）について、件数や滞納に至った経緯は。

答 滞納割合は2%。家庭状況の変化などによる。

問 総合計画等策定及び管理事業について、新たな総合計画策定のプロセスは。

答 市民意識調査や小中学生アンケートなどの各調査結果と、前期基本計画の実績や社会情勢の変化を勘案し計画を策定する。策定委員会等にて前期基本計画の課題精査などを行うとともに、まちづくり委員会にて

基本計画の案を検討いただく。

問 財務会計システム維持事業について、増額理由は。

答 更新に伴うシステム構築費や、ベンダー変更時は新旧システムを一時的に並行稼働するため。

問 警防課事務について、ドローンの活用や資格取得支援方法などは。

答 上空撮影による水難事



ドローン飛行訓練の様子

故要救助者の早期発見や、火災発生時に周囲を撮影することで迅速な消火活動につながることを考える。国土交通省のシステムに操縦者登録を行い承認された職員が10名おり、資格取得に必要な講習会の講師料を消防本部が負担し、飛行訓練を消防署内で行うことで資格取得支援を行っている。

◆そのほか、自主防災組織活動推進事業、平和啓発事業などについて審議しました。

討論として、「自治体の財政運営が厳しい状況下では、地方交付税率の引上げを国に求めるべきと考え反対する」などがありました。

《健康福祉常任委員会》

問 糖尿病予防事業について、詳細は。

答 企業や団体等と連携し、市民の野菜・果物の適正摂



野菜コーナーのPOP掲示

取を推進する新たな取組である。スーパー等での健康イベントの開催や、野菜コーナーでの野菜摂取を促すPOP掲示、「ベジチェック」という野菜の摂取量がわかる機器の体験等を予定している。

問 相談支援事業について、令和6年4月に開所された基幹相談支援センターではどのような取組を行っているのか。

答 基幹相談支援センターと委託相談支援事業所の合同会議を定期的で開催し、ひきこもり対策等について

継続的に話し合いを行っている。その他、地域拠点整備届を提出している事業所に向けた事例検討会の実施や、医療観察法対象のかたを、長期入院から地域のグループホームに入居できるよう支援する等、様々な成果を上げている。

問 保育所ICTシステム導入事業について、運用方法や、保育士、保護者等への周知方法は。

答 ICT導入にあたり、試行期間を設けて動作確認や不具合等の確認を行う予定である。令和7年12月までにシステムを導入し、1月からの試行を目指している。保護者に対しては、保護者会等を活用し、使い方などについて丁寧に説明していきたい。

◆そのほか、見守り配食サービス事業、子育て支援事業などについて審議しました。

討論として、「5歳児健

診や带状疱疹ワクチンの定期接種化などの前進面はあるが、加齢性難聴者への補聴器購入費用助成や低所得世帯へのエアコン購入・設置費用補助等の切実な要望が先送りされた。物価高で暮らしが厳しさを増す中、市民の幸福度を引き上げ、安心して暮らし続けるまちづくりが求められていることから反対する」がありました。

《文教経済常任委員会》

問 鳥獣及び愛護動物等に関する事業について、飼育主のいない動物への支援補助金が新設された経緯は。

答 高齢者の施設入所や孤独死により、行き場のないペットが増えている現状に対し、令和3年から庁内の関係部署による協議が続けてきた。行き場のないペットは、新しい飼い主が見つ

かるまでの間、一時的にボランティアに無償で預かりを依頼しているが、治療費などの経済的な負担が大きく、後継者不足等の課題に直結していることから、こうした活動を支援していく事業を新設するに至った。

問 寄付金活用事業について、コミュニティ施設特別整備事業の内容は。

答 平成25年度に、彦糸地区のために活用してほしいと、5千万円の寄付があり、平成27年度に道路照明灯や水路整備に2千万円を活用し、残りの3千万円について、町会内の合意が得られ



たため、地域の方々が使用する集会所を建設することとなった。

問 公営児童クラブ運営事業について、幸房小学校第2児童クラブ増築工事の予定は。また、現在通っている児童への影響は。

答 今後は、6月議会に工事契約の案件を上程し、令和8年3月の竣工を予定している。建設場所は、現在の建物の西側を計画しているが、安全対策として、しっかりと仮囲いを行い、現在通っている児童へ影響がないようにする。

◆そのほか、青少年育成事業などについて審議しました。

《建設水道常任委員会》

問 道路維持管理事業における隧道改良等工事の詳細を。

答 2か所の工事を予定し



ている。一つ目は、采女隧道について、大型車通行量の増加や地下水の漏水、また、施設の老朽化により路面が劣化しているため、排水性の改善等を図るために改良工事を行うものである。二つ目は、経年劣化が進んでいる仁蔵隧道の排水ポンプについて、更新を行うものである。

問 中央4丁目公共施設用地に整備予定のボール遊び広場について、計画に至った経緯および利用の対象は。また、他の既存の公園についても、今後、ボール遊びをできるようにしてほしい、との意見が出ることが想定

されるが、考えは。

答 経緯としては、現在、市内の公園ではボール遊びが禁止となっている中で、「ボール遊びができる場所が欲しい」というニーズがあったことである。広場では、こども同士の交流や親子のふれあいの場となるような利用形態を想定している。今回の整備は、市内で初めてのものであるため、整備後の利用状況等を十分に検証し、その後の方向性を検討していきたい。

◆そのほか、住宅施策推進事業などについて審議しました。

討論として、「ブロック塀等の安全確保事業について、増額を求めることから反対する」などがありました。

最終結論を出す本会議では、各常任委員長から審査報告がなされ、討論・採決の結果、賛成多数で可決しました。

補正予算トピックス

議案第15号 令和6年度三郷市一般会計補正予算(第7号)

盛り込まれた主な事業※



防犯のまちづくり推進事業

400万円

内容 市内の戸建て住宅に設置する防犯カメラの設置費用の3分の2(上限2万円)を補助するもの。

- ◎ 防犯カメラの設置補助は、戸建て住宅が対象とのことだが、商店は対象となるか。
- ① 事務所・店舗・その他これらに類する用途を兼ねる戸建ても対象となる。



市内経済活性化事業

2億円

内容 キャッシュレス決済サービス(PayPay)を活用した消費下支え等を図り生活者及び市内事業者支援を実施するもの。

- ◎ 市内店舗で利用できるプレミアム付きデジタル商品券の購入手続きは。
- ① 購入希望者は市内在住が要件となっており、アプリ上でマイナンバーカード・運転免許証・運転経歴証明書・在留カード・特別永住者証明書により本人確認を行ったあと、応募し、抽選で当選した方が購入できることとなる。



低所得者支援及び

定額減税補足給付金支給事業

3億3,800万円

内容 実施済の調整給付額が、実績による定額減税可能額と比べて不足しているかたに対し、差額を支給するもの。

- ◎ 差額が生じる具体的な理由は。
- ① 当初調整給付時と比べて、以下の理由により不足分、差額が生じる。
 - ① 令和5年所得に比べ、令和6年所得が減少したことにより令和6年分所得税額が減少したこと
 - ② 当初調整給付後に税額修正が生じたことにより、令和6年度分個人住民税所得割額が減少したこと
 - ③ 令和6年中にこどもの出生等、扶養親族が増加したことによる定額減税可能額が増加したこと



地球温暖化対策推進事業

2,171万円

内容 市内の事業者(量販店を除く)から省エネ家電(エアコン、冷蔵庫)を買い換える者に対し補助金(上限8万円)を交付するもの。

- ◎ 省エネ家電への買換費用補助は令和6年度も行ったが、来年度のスケジュールはどうなるのか。
- ① 令和6年度は5月に開始し、7月末で終了したことを踏まえ、今回は購入先を個人事業者に限定した影響として、量販店と比べ、対象機器の設置工事に時間を要することに配慮して、6月頃から開始し、12月までと期間を長めに想定している。



災害備蓄品整備事業

6,500万円

避難所環境整備事業

49万1千円

内容 指定福祉避難所の生活環境を改善するため、自動排泄処理ポータブルトイレ16台、マンホールトイレ設置用テント3基を購入するもの。

- ◎ 自動排泄処理ポータブルトイレ16台分の収納場所は。
- ① 新たに指定した指定福祉避難所にそれぞれ収納するが、さつき学園は建物内に保管場所がなく、避難所環境整備事業により購入する倉庫で保管する。
- ◎ 備蓄倉庫確保に対する市の考えは。
- ① 備蓄倉庫は市内33カ所の指定避難所のほか、後谷備蓄倉庫などの物資拠点や、災害協定を締結した民間の倉庫を借用するなど確保できている。



マンホールトイレ

※各事業内容の詳細は、市ホームページをご確認ください。



市政に対する

一般質問

— 質問議員 —

佐々木 修
宇治由紀子
深川 智加
齊藤 幹郎
菊名 裕

加藤 英泉
西村寿美枝
佐藤 裕之
一色 雄生

渡邊 雅人
佐藤 睦郎
佐藤 智仁
鳴海 和美

篠田 隆彦
柳瀬 勝彦
寺沢 美紗
工藤智加子

市政に対する監査と政策提案の実現のため、17人の議員が4日間にわたり市政運営全般に対し一般質問を行いました。

※記事掲載は順不同。内容は各議員が要約して執筆しています。

災害ボランティアについて

議員

災害発生後、しばらくして災害ボランティアセンターが開設される。自衛隊などによる被災者の命を守る活動が優先され、災害ボランティアの活動はその後になる。三郷市が被災自治体となった際、人的支援が必要になるために災害ボランティアセンターの必要性と連携、受け入れ体制を未然に整えておく必要がある。また、被災自治体、災害ボランティアセンターからの正しく素早く的確な情報発信も重要となる。体制・育成・周知、また災害ボランティアセンターの運営について伺う。更に、三郷市職員が災害ボランティア活動をする際の制度はあるのか。現地での活動経験を市へ活かすためのフィードバックが必要ではないか。

危機管理監

三郷市地域防災計画においてボランティア活動の環境整備等に努めている。引き続き災害時のボランティア体制の強化について取り組んでいく。

福祉部長

災害ボランティアセンターの活動は社会福祉協議会が主

体となって取り組んでおり、研修会

の実施等、様々な手法で周知・育成

をしている。今後も社協と連携し、

災害ボランティアの方々が活動し

やすい環境づくりに努めていく。

総務部長 年次休暇の他、年5日

間のボランティア休暇を取得でき

る。ボランティアを経験した職員が

得た貴重な情報をフィードバック

することは有意義だと考えており、

今後、必要に応じて担当部署と協議

していく。

防犯カメラ設置者に

補助金交付を

議員

昨今、犯罪の発生件数は増加傾向にあり、その手口も凶悪化してきております。闇バイトによる犯罪や特殊詐欺被害の状況などから、防犯カメラの設置は市民の安心・安全を高めるものだという認識が広まってきております。今議会において、市提案の「市内の戸建て住宅に防犯カメラを設置した市民に対し、給付額を補助対象経費の3分の2（上限額2万円）とする防犯カメラ設置費補助金交付事業」が可決されましたが、私案ですが、更なる市民の防犯意識の向上を図り、安全・安

心な地域社会の実現に向けて、防犯

カメラを設置した個人や町会・自治

会に対し1世帯3万円を上限とし

て市内6万8,600余りの世帯、

町会・自治会に対し、千件目標の補

助金交付の予算を組んで、早急な普

及を計ったかどうか考えます。

市民生活部長

防犯カメラの設置は犯罪の抑止及び不審者へのけん制となり、地域の安全安心を向上させる上で非常に重要であると認識している。昨今の状況を受けて、侵入盗等の被害防止と地域における防犯力の向上を図るため、防犯カメラの設置費用の補助を令和7年度から開始する。ご提案の補助制度の拡充等については、今後補助金交付の事務を進めていく中で、様々な課題等を精査していくほか、他市の動向などを捉えながら、更なる防犯対策の推進に努めていく。

その他の質問

防災問題など



介護人材不足の 解決に向けた 取り組みについて

議員

長年の課題となっている介護人材不足の解決に向け、介護職員の処遇改善や働きやすさなどの職場環境改善といった職員の絶対数を増やすための取り組みと合わせて、効率化や機械化を推進して今後は介護の質や量を確保したうえで、これまでよりも少ない職員数で介護サービスを提供できるための仕組み作りも重要となる。そこで国が示した「特定施設等における人員配置基準の特例的な柔軟化」と「介護DXの推進」について本市でも積極的に進めるべきと考えるが市の見解は。

いきいき健康部長

「特定施設等における人員配置基準の特例的な柔軟化」について現時点で市内施設において届出をしている事業者は無いが、今後事業者の意向等の把握を含めて周知を検討してまいりたい。「介護DXの推進」については事務の負担軽減や処理の迅速化につながることを期待できるなど、介護分野における適切なDXの活用は不可欠と考えているため、早期の運

用開始を目指して準備を進める。
その他の質問 財政施策など

投票所の利便性向上について 誰もが投票しやすい 投票所環境づくりの取組

議員

高齢者や障がい者のための投票支援カードや、投票者がボードの絵を指差すだけでやりとりが出来る投票所版「コミュニケーションボード」を導入すると、より安心して投票して頂けるのではないかと、近年の選挙において期日前投票者数が増加していることから、増設の取組が必要である。におどりプラザや、ららぽーとみさとを期日前投票所として加える事は可能か。さらに、投票日当日に市内どここの投票所でも投票が出来る「共通投票所」制度を導入する予定はあるか。現在4つある（市役所を除く）期日前投票所を1日延長して当日も投票出来る「共通投票所」とすれば、より選挙人の利便性や投票率の向上に繋がるのでは。

行政委員会事務局長

昨年10月の衆議院議員総選挙から、視覚障がい者が投票用紙へ自書することが出来る「投票用紙記入補助具」を新たに導入した。共通投票所は、二重投

票を防止するため、市内各投票所を専用通信回線で結ぶ必要があり、セキュリティが確保されたシステムの導入や、回線工事の費用負担などの課題がある。期日前投票所の増設については、衆議院議員選挙のような急な解散に伴う突発的な選挙にも対応できる必要があり、投票管理者・立会人の確保、従事職員の協力体制などの課題がある。今後とも様々なニーズに沿った投票所の利便性向上の取組について調査研究していく。



地方選挙用
コミュニケーションボード

食の安全保障の視点から 自給力向上と減農薬等の 取り組みについて

議員

戦後、日本の食の自給率は下降の一途であり、本市のような都市部では農地の減少は顕著、食の自給は困難な課題となっている。昨

今、食の安全保障の視点から都市部の自治体が地方の農村との連携に取り組む例も出てきている。また、農薬等の化学物質と疾患の増加との関連が指摘され、世界は減農薬・有機栽培の方向であるが、日本では農薬使用量の規制が大幅に緩和されている。利益相反のない講師による勉強会の開催など、地域独自の取り組みが必要と考えるが、市の見解と今後を伺う。

地域振興部理事

市では毎年、県と連携し、市内農業者の方々に協力をいただきながら、農業技術の向上に向けた試験研究を行っている。令和6年度は、小松菜と枝豆栽培における化学肥料の低減に向けた方策の検討をテーマに試験研究を行った。今後も、有機飼料等の使用により化学肥料の削減に取り組む農業者を支援しつつ、国・県・近隣自治体の動向を注視し、安全、安心な農作物の安定供給に向けて取り組みを進めていく。

その他の質問

トイレの防災など



「雨庭」による治水対策を

議員 「雨庭（レインガーデン）」とは、雨水の貯留浸透の働きを併せ持つ庭のことで、近年、自然の機能を活用して防災機能を向上させようというグリーンインフラとして注目されている。都市型の水害対策を進めるには、小規模分散型の治水対策を、市民と共に考えていく必要がある。『雨庭』を作るワークショップ等で関心を深める取り組みを行っている自治体もある。グリーンインフラによる治水対策『雨庭』について市の考えを伺う。

建設部長 中川・綾瀬川流域においても、治水対策推進のため、令和6年3月に「特定都市河川」として指定され、今年の7月から特定都市河川浸水被害対策法が施行される予定である。今後、堤防や排水機場などのハード整備の加速化や、雨水貯留浸透施設設置の義務化のほか、田んぼダムなど自然環境が持つ力を活用したグリーンインフラの整備など、様々な治水対策効果が期待される。『雨庭』は、歩道などの植栽地や公園、家庭の庭など、身近な場

所で設置が可能であり、流域治水によるまちづくり推進のため、関係部署との連携や先進事例の情報収集などに努める。

市役所窓口のプライバシー保護対策を！

議員 市民が市役所に来訪する目的の中には、離婚の手続きや、相続の書類の請求など、他人には知られたくないデリケートな内容も少なくない。しかしながら、当市の窓口カウンターは、隣の人の話を聞かれたり、後ろから書類を見られたりする心配がある。来訪者のプライバシーを保護するため、すべての窓口を点検し、音声の漏洩を防ぐ対策や、来訪者の姿を隠す対策などを、早急に講ずることについて伺う。

市長 研修などを通じて職員の意識向上を図るとともに、相談内容に合わせたプライバシー保護の取り組みを推進する。

企画政策部長 窓口・電話ではプライバシー保護を前提とした対応を基本とし、声の大きさや書類が他のかたから見えないようにするなどの配慮を行っている。また、納税

相談場所のパーテーション設置や「おくやみコーナー」など個別の相談室の設置や、希望に応じた相談室の確保などの対策を講じている。今後もそれぞれのニーズに合わせた対応や、来庁者に配慮した適切な事務室配置など、ハード・ソフトの両面から対策を講じる。

その他の質問 環境問題



プライバシーに配慮した市民課窓口

インターネットを使った選挙運動について

議員 未来の選挙運動に備え、候補者はSNSの可能性を最大限に

引き出すための戦略を磨き続ける必要があります。多くの立候補者がこれからインターネットを利用した選挙運動を考えると考えられますが、他人がSNSやブログなどに掲載した文章や画像、動画も、その人の思想や感情を創作的に表現したものなので、著作物に該当します。したがって、ネットに掲載されている文章や動画・画像でも、掲載した人の許諾を得ることなく転載した場合は、無断転載にあたるといえます。違反ですという注意だけでなく、具体的な公職選挙法、著作権法、刑法など法律違反についても具体的に伝える必要があると感じています。

行政委員会事務局長 インターネットを利用した選挙運動を行う上でのルールや注意事項等について、総務省ホームページに掲載の「ガイドライン」などを活用し、市議会議員選挙立候補予定者説明会などで周知を行う。インターネットを用いた選挙妨害への対応は、現行の公職選挙法では限界があり、国の動向を注視する。選挙違反は古川警察署に情報提供し連携して対応する。

その他の質問 中途視覚障害についてなど

障がい者の仕事の 確保を積極的に

議員 障がい者就労及び在宅就業

支援団体の受注の機会を確保するため、「国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律」、いわゆる「障害者優先調達推進法」が平成25年から施行された。三郷市でも障がい者施設等からの物品等の調達方針が

つくられ、2024年度方針に盛り込まれた目標額は135万円となっている。しかし、近隣市の目標値は、人口約7万人の吉川市で230万5千円、草加市は人口約25万人で1,155万円を設定している。このように三郷市の目標値はまだ低いと考える。障がい者の仕事の確保を積極的に行ってほしいが、実績と合わせて、目標値の拡大について伺う。

福祉部長 平成25年4月施行の「障害者優先調達推進法」により、国

や地方公共団体等は、障害者就労施設等から優先的に物品等を調達するよう努めることとされた。市でも毎年調達方針を策定し、調達の推進に努めている。庁内の発注状況は、お茶等の「物品購入」が多く、「封入

封緘」等の役務の調達実績は少ないのが現状である。年々、障害者手帳の所持者数とともに、市内の障害者就労施設に通うかたも増えている。障害者優先調達推進法について、庁内全体に対し、引き続き周知・啓発に努めていく。

その他の質問 人権問題など

**安心してください、
備えてますよ**

議員 昨今、八潮市道路陥没事故

や大船渡市大規模火災等、地震や風水害以外での避難行動の必要性が増大していると考え。本市に於ける避難所運営中、避難所備蓄品の詳細を伺う。

危機管理監 三郷市地域防災計画

に基づき三郷市備蓄計画を策定し、7,541人分を備蓄物資対象者としている。食糧・飲料水は、アルファ米、おかゆ、ライスフッキー、乳幼児用ミルク、500mlペットボトル。衛生用品は、携帯及び簡易トイレ、自動ラップ式トイレ、紙おむつや生理用品等。生活用品は、エアーマット、段ボールベッド、簡易ベッド、アルミブランケット、毛布等。その他、プライベートテント、間仕切り、発

電機や投光器、避難所開設キット等。また、56の民間事業者との災害時応援協定により、食糧や水、医薬品等の供給体制も締結している。備蓄品目の選定については、高齢者、障がい者、乳幼児、妊産婦等の要配慮者に配慮しながら、災害発生時の季節等に応じ、あらゆる状況においても対応できるよう備蓄品目を選定している。

その他の質問 行政問題



プライベートテント

介護における困難事例

議員 残置物の多い現場では介護

を行う際に、現在の介護報酬では賄えない事例が存在するが、介護離職を減らす為にも効果的に人手不足を補う必要があると考えられる。その為には、業務内容を明確にする事も重要な事ではないだろうか。特に劣悪な環境に住んでいる高齢者にとっては、清掃に時間がかかり介護職員だけでは限界が生じてしまうのが実態である。特に清掃分野は、プロの事業者を引き継ぎする事が高齢化社会の支えになるのでは。今後の介護のあり方を福祉部長に問う。また、いきいき健康部長に介護支援について伺う。

福祉部長 障がい福祉サービスの居宅介護を利用されているかたについては、障がい特性に配慮したうえで、処分や片づけについてご本人に説明し、理解を得ることが先決となる。ご本人やヘルパーでも処分や片付けしきれない場合には、専門の片付け業者の利用を助言している。

いきいき健康部長 支援が困難な事例についても、関係機関と連携の強化を図り、問題が大きく表面化する前に早期に介入し、居住環境における衛生面や安全性が保持できるよう支援していく。

その他の質問 交通問題など

産前産後 ホームヘルパー派遣事業の 必要性について

議員

出産直後の時期は母親にとって心身ともに負担が大きく、周囲の十分な支援が得られない場合、育児疲労や精神的不安が深刻化する恐れがある。日本では出産後の母親の約1割が産後うつ状態になるとの調査結果もある。かつては産後の母親を支える役割を祖父母世代が担うことが一般的だったが、現代

ではその環境も変化しており、妊産婦の実父母や義父母が産後のサポートに十分な時間を割くことができない。出産前後の母親の負担軽減を図るため、家事や育児を手伝うホームヘルパーの派遣は有効な支援策であり、母親の孤立防止や育児負担の軽減に役立つが、本市の見解を伺う。

こども未来部長

産前産後期は妊産婦にとって負担が大きく、特に産後は出産による体の不調、新生児の育児等により、家事や育児のサポートが必要な時期であると認識している。しかし、社会状況の変化により家族のサポートが充分でないこともあり、ホームヘルパーなどによ

るサポートが有効なこともある。産前産後期の支援については、養育支援訪問事業や本年度から子育て世帯訪問支援事業を開始し、妊娠期から子育て期の支援を要する世帯に家事支援や育児支援を始めたところであり、今後も先進事例などを調査・研究していく。

学校給食について

議員

今年の1月14日、稼働から50年が経過し老朽化した岩野木学校給食センターに代わり、瑞沼学校給食センターが給食の供給を開始した。新しく導入された炊飯システムも生徒からは好評を得ている。そこで給食センターの現状と、施設設備の修繕が繰り返されている鷹野学校給食センターの老朽化対策、また高騰する食材費に対するの対策を伺う。

学校教育部長

瑞沼学校給食センターは、給食・食育・防災の3本柱のコンセプトを掲げ、学校給食衛生管理基準を順守した施設である。鷹野学校給食センターは、2基のボイラのうち1基が故障した場合でも、短期間であれば給食の提供は可能で

ある。安定した学校給食の提供には、日々のメンテナンスが重要であり、引き続き計画的に行っていく。また食材費は、高騰分を市が負担しているが高騰が継続する恐れもあり、学校給食摂取基準の栄養価を確保しながらも、旬の食材を取り入れた手作りの料理を増やしたりと、献立の工夫をしていく。



瑞沼学校給食センター

睡眠で身体を健康に！

議員

日本国民は49.3%が不眠症、睡眠負債が蓄積している人の特

徴は寝つきが8分以内などの特徴がある。睡眠の16時間前には日の光を浴びてタンパク質を摂取しないと睡眠ホルモンが作られない。睡眠によって、集中力の増加や不登校の減少など、様々な心身の問題解決ができる研究が進んできたが、三郷市の取り組みと今後について伺う。

いきいき健康部長

適正な睡眠により心身の健康を保持し、生活の質を高めることは極めて重要なことと認識しており、駅前での街頭キャンペーンや町会での保健師による睡眠講座を行っている。今後も関係部署や関係団体と連携を図り、睡眠の重要性について様々な機会を活用して周知・啓発に努めていく。

学校教育部長

小学校体育や中学校保健体育で、運動、食事、休養、睡眠の調和がとれた生活の必要性や、中学校の家庭科教育で、幼児の発達に合った基本的な生活習慣を身につけさせる必要性を指導している。また、講演会や保健だよりなどによる保護者への啓発や、教職員に対し、県や保健所からの健康情報等を提供し、睡眠の正しい知識や睡眠不足の影響を啓発している。

その他の質問

官民学連携についてなど

「搾乳」できる環境整備と、 公共施設のトイレの 洋式化について

議員 「搾乳」とは、出産後の女性

が母乳を自分で搾ることだが、出産後は、搾乳をしない間にも体が母乳を作り続けるため、職場復帰などで授乳回数が減った場合、母乳が溜まって乳房が張ってくることもある。放置した場合、乳腺炎になり、痛みや熱が出ることや母乳の量が減ってしまうといった可能性がある。産後まもなく職場復帰をする女性が増える中、この環境整備について市の取り組みについて伺う。さらに、公共施設の利便性向上と災害時利用の観点からすべてのトイレの洋式化をすべきと考えるが見解は。

財務部長 県では、乳幼児を育て

るかたが安心して外出できるように、授乳やおむつ替えのできる「赤ちゃんの駅」の設置を推進している。市の公共施設にある23か所の赤ちゃんの駅では、「搾乳もできます。ママおひとりでもご利用ください。」という表示が入ったステッカーを掲示している。公共施設のトイレについては、施設の改修の機会をとらえ、順次、洋式化を進めている。災害

時に自主避難場所となる施設のうち、トイレの洋式化率が低いところは、今後、更なる整備が必要であると認識している。今後も誰もが利用しやすい施設となるよう努めていく。

その他の質問 行政問題



赤ちゃんの駅における掲示

公園のベンチなどに 木陰を整備し快適に

議員 「三郷市緑の基本計画」は、

都市における緑地の保全や緑化を推進する法律に基づき、三郷市の緑をとりまく状況を勘案しながら公園の整備、緑地の保全や緑化の推進などに関する取り組みを定めたもので、3つの基本方針を示している。「公園の整備・管理」の施策については、公園の機能の充実の具休策として「木陰のある休憩スポットの

確保に努める」としている。私共が行った市民アンケートでは、「樹木が少ない」「木陰がほとんどない」「ごどもの遊びに付き添うなど長時間の滞在が大変など」という声が届いている。実態を調査し改善するべきではないか。

まちづくり推進部副部長 公園内

の木陰は夏の強い日差しを和らげる要素であると認識している。一方、防犯意識の向上を背景に、植栽による公園内の視認性や安全性への懸念など、市に寄せられる意見は多岐に渡る。新たな公園整備は地域住民とのワークショップなどを通じ計画段階から意見を伺っており、既存の公園内の植栽は地域の意向を確認し対応している。実態調査については、職員のパトロールにより状況把握に努める。

その他の質問 保育行政など

公共施設管理運営計画 (下水)

議員 八潮市で道路陥没事故が発

生し1月余りが過ぎた。当市においても下水管渠の健全度を的確に把握し、事故の未然防止や機能停止の防止の為、適切な維持管理が急務で

ある。対策としての政策・施策には、施設の老朽化に伴う更新投資の増加として、新規整備以外に今後50年間で122億円(1年当たり約2.4億円)の事業費が必要とされ、今後見込まれる事業費のための財源確保も、市内全域の整備には、約400億円の事業費が必要となる。新規の財源確保がなければ運営は難しく、使用料水準の見直しとしても、現状78%と低水準の経費回収率は更に悪化が予想される。施策には課題、対策、などが明記されているが、今後、要される莫大な予算の確保を含め、シビアな現実の中、財源確保をはじめ、掲げられている計画を予定どおり進める事が本来に出来るのか。

建設部長 昨年12月に見直しをし

た「三郷市公共下水道経営戦略」に基づき、下水道事業経営の安定化を図る。また、老朽化対策と長期的な財政負担の軽減を図るため、「ストックマネジメント計画」に基づき、管布設後の経過年数などを総合的に踏まえ、災害リスクが高い場所から計画的に対策を行う。

3月定例会の審議結果と賛否をお知らせします

○＝賛成 ×＝反対

	号	件名	結果	新政会	21世紀クラブ	公明党	日本共産党	ネットワークみらい	政志会	無所属
市長提出議案	1	専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○*	○	○	○	○	○
	2	交通事故に係る損害賠償額の決定及び和解について	可決	○	○	○	○	○	○	○
	3	三郷市の特定の事務を取り扱う郵便局の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○
	4	三郷市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
	5	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
	6	職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
	7	市長及び副市長の給与等に関する条例及び三郷市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	○	○	×
	8	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
	9	三郷市手数料徴収条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
	10	三郷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	○	○	○
	11	三郷市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
	12	三郷市地域型保育事業の設備及び運営の基準に関する条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
	13	三郷市建築基準法の規定に基づく建築物の建築等に係る確認申請手数料等の徴収に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
	14	三郷市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
	15	令和6年度三郷市一般会計補正予算（第7号）	可決	○	○	○	○	○	○	○
	16	令和6年度三郷市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○
	17	令和6年度三郷市介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○
	18	令和6年度三郷市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○
	19	令和7年度三郷市一般会計予算	可決	○	○	○	×	○	○	○
	20	令和7年度三郷市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	×	○	○	○
	21	令和7年度三郷市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	×	○	○	○
	22	令和7年度三郷市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	×	○	○	○
	23	令和7年度三郷市上水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	×	○	○	○
	24	令和7年度三郷市公共下水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	×	○	○	○
	25	令和6年度三郷市一般会計補正予算（第8号）	可決	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案	26	三郷市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
	27	三郷市議会議員政治倫理条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
請願	1	学校給食の無償化を求める請願書	不採択	×	○	×	○	×	×	○

※議長は採決に加わっていません。 ※表決*は欠席1名。 ※このほか陳情6件、要望1件がありました。

会派名（人数）	所属議員名
新政会（8）	武居 弘治、篠田 正巳、佐々木 修、田上 広子、宇治 由紀子、篠田 隆彦、齋藤 幹郎、寺沢 美紗
21世紀クラブ（5）	菊名 裕、岡庭 明、加藤 英泉、柳瀬 勝彦、渡邊 雅人
公明党（5）	鈴木 深太郎（議長）、酒巻 宗一、佐藤 睦郎、鳴海 和美、西村 寿美枝
日本共産党（3）	工藤 智加子、佐藤 智仁、深川 智加
ネットワークみらい（1）	市川 文雄
政志会（1）	佐藤 裕之
無所属（1）	一色 雄生

【議会の詳細は「会議録」で】

三郷市議会ホームページまたは、市役所内の市政情報コーナー、図書館などで「会議録」を閲覧することができます。なお3月定例会の会議録は5月下旬頃に更新する予定です。

▶会議録速報版を公開…閉会から概ね1か月程度で、ホームページ上にPDF形式で公開しますのでご覧ください。

URL <https://ssp.kaigiroku.net/tenant/misato/SpTop.html>

三郷市議会 会議録

検索

※状況により、公開が遅れる場合があります。

「三郷市議会議員政治倫理条例」を制定

議員提案により条例案(議案第27号)が提出され、全会一致により可決されました

目的は？

三郷市議会議員が守るべき政治倫理の規準を定め、議員の資質向上と誠実な職務の遂行により、市民から信頼される議会を目指すことを目的とします。

倫理基準に違反した場合は？

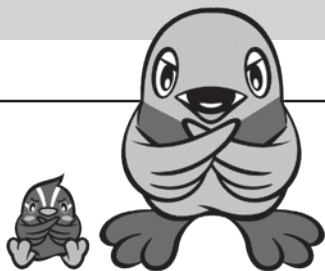
市民及び議員は、「政治倫理審査会」へ審査請求をすることができます。同審査会は、倫理基準に違反する行為の存否を審査するとともに、必要な措置について勧告することができます。

施行期日

令和7年4月1日から施行します。

政治倫理基準とは？

- 議会及び議員の名誉及び品位を損なう一切の行為を慎み、疑念を持たれるおそれのある行為をしないこと
- 市の職員などの公正な職務の執行を妨げないこと
- 市の職員などの採用、昇任、異動その他の人事について、不当な関与をしないこと
- その地位を利用して不当に金品を授受しないこと
- その地位を利用して他者へのハラスメント行為、誹謗中傷その他の人権侵害のおそれのある行為などしないこと



議会あれこれ

他市からの行政視察がありました

○「脳とからだの健康チェック事業を中心とした認知症施策」について…1月16日に久喜市議会、蓮田市議会、白岡市議会、杉戸町各議会 公明党所属市町議会議員。

視察研修を行いました

- 「公明党三郷市議団」…1月21日に京都府京都市の「京あんしんこども館」について、22日に兵庫県伊丹市の「安全・安心見守りネットワーク事業」について、23日に大阪府枚方市の「持続可能な権利擁護支援モデル事業」について。
- 「ネットワークみらい」及び「政志会」…2月4日に宮崎県日南市の「地域公共交通政策」について、5日に宮崎県宮崎市の「グリーンスローモビリティ『ぐるっぴー』」について、6日に宮崎県西都市の「自動運転EVバスの実証実験 及び『さいと自動運転推進コンソーシアム』」について。

議会だより編集委員会

2月17日付で、議会だより編集委員に、柳瀬勝彦議員が新たに選出されました。

議 会 を 傍 聴 し ま せ ん か

議会傍聴は議会活動に触れることができる最も身近な方法です。市政への理解を深めていただくためにも傍聴をしてみませんか。

※傍聴の際に手話通訳、または要約筆記を希望されるかたは、傍聴希望日のおおむね14日前までに議会事務局までお申し込みください。

問い合わせ 議会事務局 ☎ 048(930)7768
FAX048(953)1358

..... 傍聴のルール

- (1)騒ぎ立てたり、拍手をするなど可否を表明したり、迷惑となるような行為をしないでください。
- (2)みだりに立ち上がるなど、威圧的な行為をしないでください。
- (3)携帯電話・カメラ・録音機等の電源はお切りください。
- (4)飲食または喫煙をしないでください。
- (5)その他、議場の秩序を乱し、または会議の妨害となるような行為をしないでください。

★傍聴されるかたは、議長、係員の指示に従ってください。

..... 傍聴 Q&A

Q. 議会はいつ傍聴できますか。

A. 議会は3月・6月・9月・12月に開催されます。詳しい日程は議会事務局にお問い合わせください。

Q. 議会を傍聴したいのですが、どのような手続きをするのですか。

A. 本会議は原則として、どなたでも傍聴ができます。通常は午前10時から会議が開かれますので、本庁舎7階傍聴席入口で氏名・住所を記入してから傍聴してください。なお、委員会の傍聴は委員長の許可が必要となり、6階議会事務局で受付します。

Q. 子どもと一緒に傍聴したいのですが。

A. お子さんの傍聴も可能ですが、小さなお子さんは保護者の同伴が必要です。

Q. 車椅子でも、議会の傍聴はできますか。

A. 車椅子のかたのためのスペース(3席)があります。



傍聴席60席
(そのうち、車いす席3席)

令和7年6月定例会の予定表

月日	曜日	会議別
6/2	月	本会議 (議案説明・ 質疑など)
6/4	水	
6/5	木	委員会
6/10	火	本会議 (議案採決・ 一般質問など)
6/11	水	
6/12	木	
6/13	金	

※日程は、市長の招集告示を受け、議会運営委員会を経て、開会日の本会議で正式に決定します。

次回、6月定例会は6月2日(月) 午前10時に開会予定です。

わたしも ひとこと



みさとで「コワーキング」したい

フリーランス 30代 さつき平在住

私は創作活動を生業とするフリーランスです。基本的に自宅で一人で仕事をしています。サラリーマンのように就業時間が決まっているわけではなく、休みの日も無いに等しく、リフレッシュや運動もなかなかできず、精神的にも肉体的にも不健康になりがちです。

そこで、最近、コワーキングスペースを吉川美南駅近くの商業施設に見つけ、片道30分歩いて通って仕事をするようにしています。それぞれに仕切りがありプライバシーが守られていて、仕事にも集中できます。

私のような働き方は、コロナ禍を経て、増えているように思います。

こんなコワーキングスペースが、三郷市にもあったらいいですね。

安心・安全な街づくり

主婦 70代 彦倉在住

「道路陥没・埼玉県八潮市。」

ニュースが流れビックリ。親戚のいる二丁目でした。日に日に事態は深刻さを増し、復旧には、かなりの時間がかかると報道されました。

影響を受けられた皆様には、心よりお見舞い申し上げると共に、早い人命救出を願うばかりです。いつどこで何が起きるか分からない怖さを痛感しました。

三郷市では独自で下水道の緊急点検を実施し、異常は確認されなかったとの事でした。職員の皆様のご尽力に感謝いたします。どうか普段から点検や対策に取り組んでいただき、安心・安全に暮らせる街づくりを進めていただく事を期待致します。

※本記事は、令和7年3月に投稿いただきました。

